1 時間目	ねらい 従来の主権者教育が前提としてきた「公約比較による冷静な投票」という状況認識を解体する。 内容選択・学習活動 ○ SNS で政治に関する情報を見たことがあるか、生徒の経験を共有する。 ○ TBS 報道特集「人工的にいいねを増やすスマホ農場・世界での世論操作の事例」2026 年 6 月放送を視聴する。 ○ 授業者から「私たちは本当に、公約を比べてよいと思った政治家に投票するということができる環境にいるのか」という問いを共有する 次回までの課題 SNS で政治に関するショート動画を 1 つ取り上げ、「題材・主張・根拠」を読み取って Microsoft Forms から提出する。
2 時間目	ねらい ショート動画を分析することで、日常的にふれる情報源としての信頼性を相対化する。 内容選択・学習内容 ○ 政治に関する情報について、新聞記事・ニュース番組と SNS・ショート動画では何が違うか、生徒の認識を共有する。 ○ グループ活動で、SNS において「2026 年衆議院選挙」に関するいくつかのキーワードを検索し、その題材・主張・根拠をまとめる。 ○ 授業者から、フィルターバブル、エコーチェンバー、アテンションエコノミーの概念を説明する。
3 時間目	ねらい 新聞記事の情報源としての信頼性と少数意見を発信できる SNS のジレンマをつかみ、SNS と政治との関係を構想する。 内容選択・学習活動 【学校図書館で学校司書と共同で実施】 ○ グループ活動で、前時で調べたショート動画と同じ題材について、6 紙の新聞の記事を調べ、その題材・主張・根拠をまとめる。 ○ グループ活動で、ショート動画と新聞記事の特徴の違いをまとめる（論理構成・情報発信の過程・著者名の有無など）。 次回までの課題 授業者から、SNS がきっかけで進展する話題（クラウドファンディング・#MeToo・入学しない大学入学金の負担など）もあることを共有し、日本政府が SNS の年齢制限を検討していることも踏まえて、「SNS と政治の良好な関係には、どのようなルールが必要か」を構想するレポート課題に取り組む。